

## 水害学習プログラム② 水害に備えてできること（後半）

### 授業のワークシート

年 組 番  
名前（ ）

1. 【②-1-4 水害から自分の命を守るための行動】を思い出してみましょう。…【導入】  
→ 「情報の集め方」と「避難時の行動」を振り返る。

#### 【本時の課題】

水害に備えて、「避難する時に気をつける場所」について考えよう。

2. 【②-2-1 避難ルートのイラスト】を見て考えましょう。…【展開Ⅰ】グループワーク①



→ 避難するときにどんな場所を通ってはいけないのかを考える。  
※ イラストを用いることで、他の地域のどこにいても対応できるよう、一般化して考えさせる。

- 避難する時に「どんな場所」が「なぜ危険なのか」理由も考えて書いてみましょう。

水があふれそうな場所、土砂くずれが起きそうな場所、  
水につかっている場所、水がつかりそうな場所。

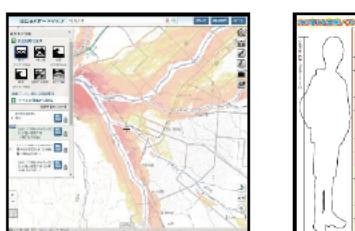
3. 【②-2-3 防災マップ】で自分の地域の避難所を調べてみましょう。…【展開Ⅱ】



注：【防災マップ】には、対象河川（石狩川、天塩川および主な支川）のみの洪水浸水想定区域が示されており、それ以外の中小河川の洪水浸水想定区域は反映されていないので、注意が必要です。

4. 【②-2-4 川があふれたときの水深】や【②-2-5 水深がわかる実物大イラスト】を見て考えましょう。

…【展開Ⅱ】グループワーク②



※ 地域の情報を用いることで、身近な場所で、大雨のときに危険になりうる場所を学ぶ。

- 50cmの水がまちにながれこんだら、どんなことが起こると思いますか？

道を歩きにくくなる。道を通れなくなる。

→ 自分の地域で災害時にどうなるか（浸水深）を知り、実際の災害時にどんな危険があるかを考える。

5. 【②-2-6 水の力の映像】を見てみましょう。…【展開Ⅲ】

【②-2-7 命を守る防災教育イラスト】を見せて解説する。



→ 川から溢れた水はにごって足元が見えないこと、流れがあり歩きにくくなること、水深があるところではドアが開かなくなることなど、大雨時に危険なことを理解できるようにする。

#### 【学んだこと】

今日の授業で学んだことを、キーワードを使ってまとめましょう。

【キーワード：大雨、川の水、避難】

例：水害が起きるとまちが水につかったり、いつも通る道が通れなく

なったりするかもしれないことがわかった。大雨が降り続いた時は、自

分の命を守るために、川の水があふれる前に避難する。

⇒ このように、早めに避難するなど、自分で自分の身を守ることを、

（自助）といいます。